資料3-1

「消費者保護検討会」ヒアリング資料

~5Gエリアの利用者への訴求について~

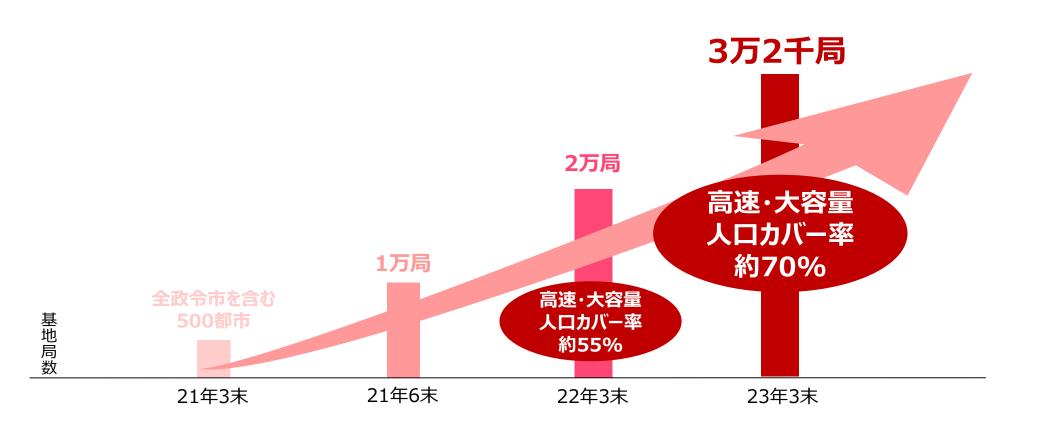
2020年12月11日 株式会社NTTドコモ

1.ドコモの5Gネットワーク展開(1/3)



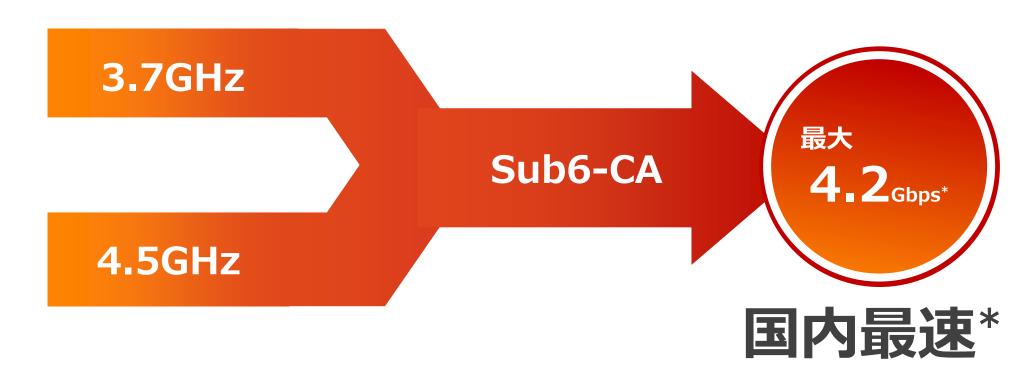
- ドコモは、高速・大容量を実現できる「5G用新周波数」によるエリア展開を積極的に展開
- 2023年3月末までに高速・大容量の人口カバー率*70%を実現

*5G用新周波数による人口カバー率





■ 2020年12月7日より、**5G用新周波数(Sub6)のキャリアアグリケーションに対応**(O-RAN仕様準拠)し、 さらに高速化したネットワークを提供開始

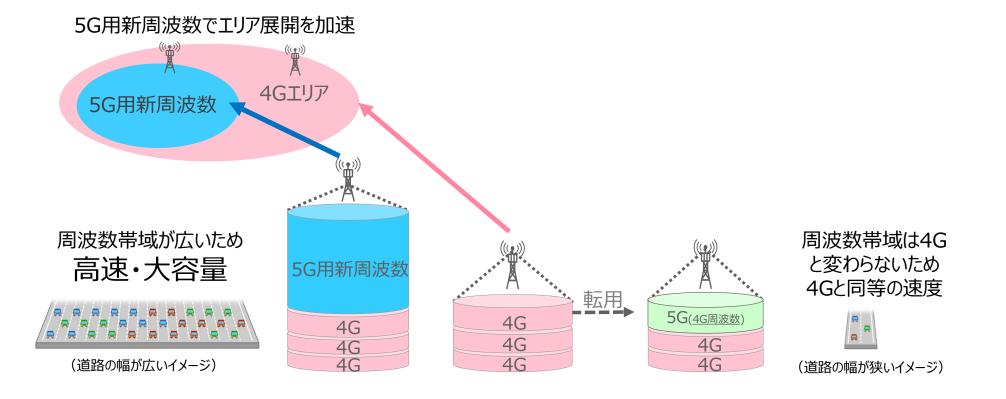


^{*}対応エリア、対応端末の技術規格上の最大値

^{*}技術規格上の最大値の比較(2020.10時点)



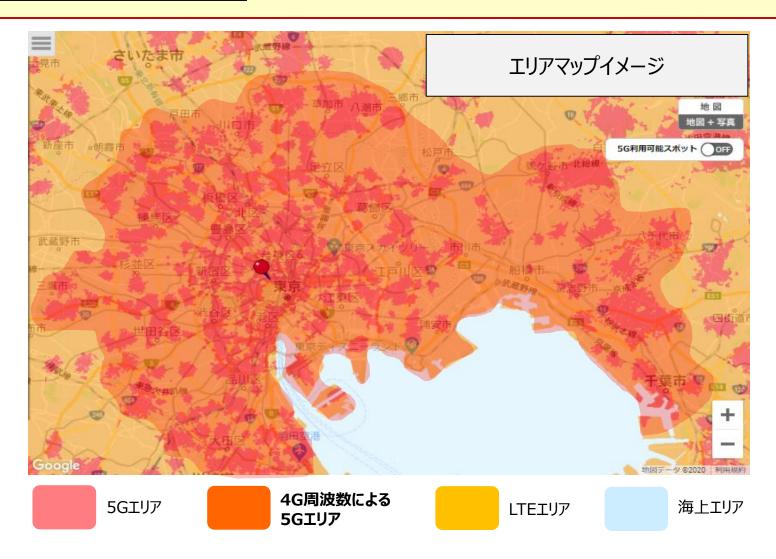
■ 「4G周波数による5G」は、広域なカバーで低遅延等のサービス普及が可能となる一方、速度は4Gと同等であり、 4Gユーザーの通信速度低下の可能性があること等も考慮して提供を検討



4. エリアマップ表示の方向性



■「4G周波数による5G」サービスを展開する際は、「5G用新周波数」と「4G周波数による5Gエリア」を色分けの上、 速度の違いが分かるよう表示する方針

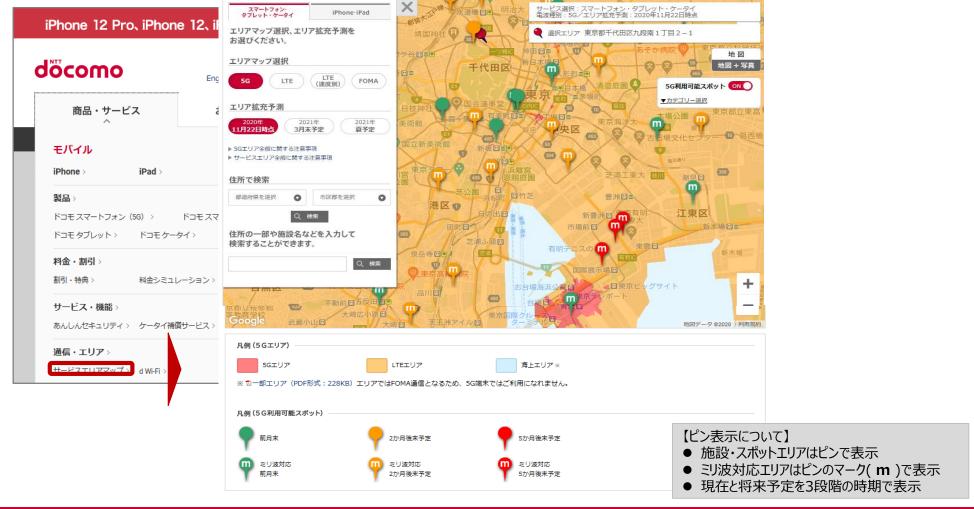


5. TVCM、店頭、webサイト上の表示



- 店頭やTVCMによる積極的なエリア訴求は実施していない
- 主にエリアマップにより、5Gエリア(当面は5G用新周波数エリア)のご説明等を行う

◇TOP> 商品・サービス> サービスエリアマップ



6. TVCM、店頭、webサイト上の表示



- 高速・大容量を実現できる5G用新周波数を「瞬速5G」として訴求
- Webサイト(5G特設サイト)では、**ドコモの5Gネットワーク展開戦略や速度等についてわかりやすく解説**

◇例)Webサイト(5G特設サイト)



ドコモの「瞬速5G」は何がすごいのか? 新周波数帯へのこだわりと展開戦略を徹底 解説!



INDEX

目次





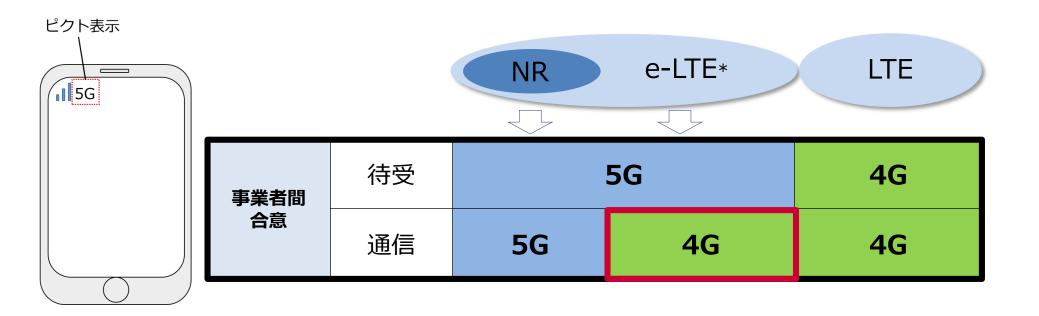
7. (参考)端末における5Gピクト表示



■ 以下の内容で国内事業者間で合意

- ✓ 待受中はe-LTEエリアに在圏中に「5G」表示(5G通信の可能性のあるエリア内で、待受中「5G」と表示)
- ✓ 通信中はNR*エリアのみ「5G」表示(NR*で通信しない場合には「5G」表示をしない)

*NRエリアは「5G用新周波数エリア」と「4G周波数による5Gエリア」を含む



*e-LTE: NSA (ノンスタンドアローン) 構成の5Gにおいて、

5G無線通信と同時に使われる4G無線接続に設定できるLTE基地局をいう